



島根県立三刀屋高等学校

校長発 『本流』

【4月号】令和5年4月3日

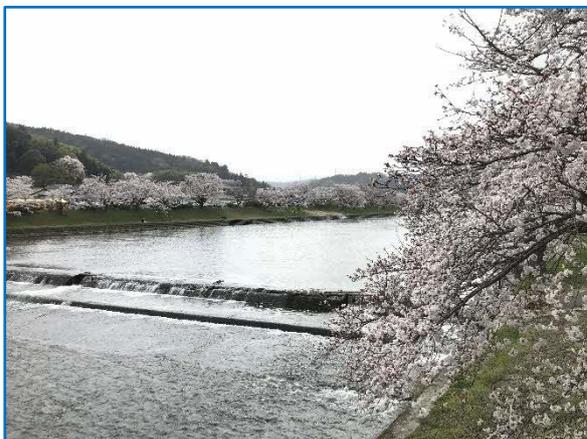
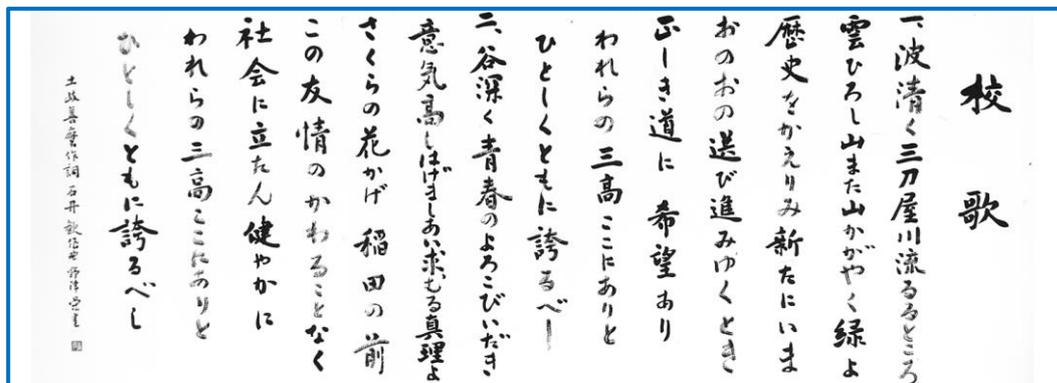


■波清く三刀屋川流るところ

令和5年度がスタートします。校長として改めて着任した本間達也です。“改めて”といったのは、昨年まで3年間教頭として勤務してきたからです。気持ちを新たに精一杯頑張る所存です。どうかよろしくお祈いします。

山間（やまあい）育ちの私は、小さい頃から川で遊ぶのが好きでした。サワガニやスナドジョウを捕まえたり、潜ってヤマメやイワナを探したりと、とにかく川べりで過ごすひと時が楽しみでした。私がイメージする川といえば、真夏でも1時間と浸かっていられない冷たく流れのはやい溪流です。ですから、本校校歌の冒頭にある「波清く三刀屋川流るところ」を聞いたときは、“波”といえば川ではなく海のイメージであったため、そのフレーズに違和感を覚えるとともに、流量豊かな大河を思い浮かべました。

「本流」には、川の大きな流れという意味のほか、正当的・本来的という意味もあります。枝葉末節にとらわれず物事の大局をとらえ正々堂々と意見の言える、また流量豊富な大河のように、器の大きさ・懐の大きさをあわせ持つ人であってほしいという願いを込めて校長発のおたよりを『本流』としました。



三刀屋川